

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【公開番号】特開2011-133662(P2011-133662A)

【公開日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-027

【出願番号】特願2009-293079(P2009-293079)

【国際特許分類】

G 02 B 23/26 (2006.01)

A 61 B 1/06 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

A 61 B 1/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 23/26 B

A 61 B 1/06 A

H 04 N 5/225 C

A 61 B 1/00 3 0 0 Y

A 61 B 1/00 3 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月13日(2012.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の周波数特性を有する第1発光素子群と、

前記第1発光素子群と並列接続されるとともに、前記第1発光素子群と極性を異にして接続され、前記第1発光素子群とは異なる周波数特性を有する第2発光素子群と、

前記第1発光素子群の駆動中は前記第2発光素子群に流れる電流を抑制する第1状態と、前記第2発光素子群の駆動中は前記第1発光素子群に流れる電流を抑制する第2状態とを選択可能に駆動制御する駆動制御部と、

前記第1発光素子群と前記第2発光素子群のうち、一方の発光素子群に流れる電流量を低下させる電流低下用抵抗と、

を備えたことを特徴とする内視鏡装置。

【請求項2】

前記第1発光素子群の周波数は、

前記第2発光素子群の周波数と異なる分光分布を有することを特徴とする請求項1に記載の内視鏡装置。

【請求項3】

前記第1発光素子群の周波数、及び前記第2発光素子群の周波数は、単一ピーク波長で構成されている

ことを特徴とする請求項2に記載の内視鏡装置。

【請求項4】

前記第1発光素子群の周波数、及び前記第2発光素子群の周波数は、帯域波長で構成されている

ことを特徴とする請求項2に記載の内視鏡装置。

【請求項 5】

前記第1発光素子群の周波数特性、及び前記第2発光素子群の周波数特性は、色温度が異なるものであることを特徴とする請求項2に記載の内視鏡装置。

【請求項 6】

前記二種類の発光素子群のうちの一方は、通常可視光を発光するものであり、他方は紫外線若しくは赤外線を発光するものであることを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれかに記載の内視鏡装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

本実施態様にかかる内視鏡装置は、所定の周波数特性を有する第1発光素子群と、前記第1発光素子群と並列接続されるとともに、前記第1発光素子群と極性を異にして接続され、前記第1発光素子群とは異なる周波数特性を有する第2発光素子群と、前記第1発光素子群の駆動中は前記第2発光素子群に流れる電流を抑制する第1状態と、前記第2発光素子群の駆動中は前記第1発光素子群に流れる電流を抑制する第2状態とを選択可能に駆動制御する駆動制御部と、前記第1発光素子群と前記第2発光素子群のうち、一方の発光素子群に流れる電流量を低下させる電流低下用抵抗と、を備えたことを特徴とする。